

数字に見る東武グループ

東武グループは、東武鉄道と連結子会社で69社、持分法適用会社3社の計72社（2023年度末現在）を連結の範囲とし、鉄道・バスなどの運輸事業、ホテル業などのレジャー事業、分譲・賃貸業などの不動産事業、百貨店業などの流通事業、建設業などの其他事業の5つのセグメントから構成される。



従業員数

18,384人

従業員数は18,384人（2023年度末現在）で運輸事業は9,129人、レジャー事業は3,614人、不動産事業は331人、流通事業は2,131人、其他事業では2,940人、一般管理239人。経営の近代化・業務の機械化により、人員は減少傾向にある。



ホテル数

18

客室数

3,383室

東京を中心に埼玉、千葉、栃木、北海道などで18のホテルを運営し、客室数は3,383室を提供している。マリオット・インターナショナルとの提携により、ザ・リッツ・カールトンなど国際的なブランドも展開している。

バス 路線距離

10,876 km



東武バスグループ、朝日自動車グループの2つの主要事業者に分かれて運行し、路線距離は10,876km。東京、埼玉、千葉、茨城、群馬、栃木と広範囲なエリアをカバーする。東北、北陸、関西などへの高速バスも運行している。

東京スカイツリータウンは、2012年5月22日にグランドオープンした。開業初年度は開業フィーバーに沸き、想定を大きく上回る4,476万人が来場。その後、コロナ禍から順調に回復し、2023年度には3,716万人が来場した。開業から12年が経過した2024年11月1日には、累計来場者数4億人を達成。国内外からの来場者でにぎわっている。

東京スカイツリータウン

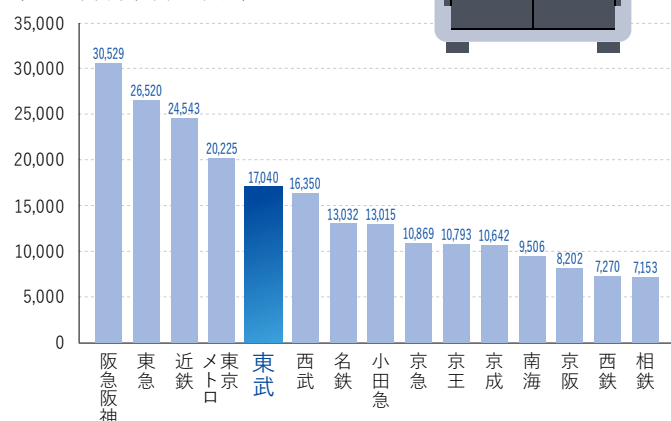
累計来場者数

4億人



総資産

1兆7,040億円

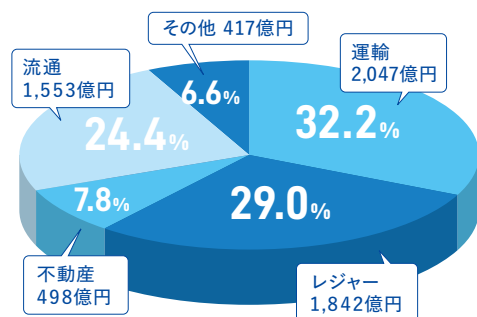
大手民鉄の総資産（連結）
（2023年度末、単位：億円）

総資産は1兆7,040億円で、純資産は5,417億円（2023年度末）である。大手民鉄の中で5番目に多くの総資産を保有している。

営業収益

6,359億円

セグメント別内訳



2023年度の東武グループでの営業収益は6,359億円で、コロナ禍前の2019年度以前の水準に戻っている。運輸・レジャー・流通の3つのセグメントで85%超となっている。

東武グループ共通ポイントサービス「TOBU POINT」のアプリダウンロード数は2024年10月末現在、76万人であり、2025年度にはアプリダウンロード数100万人を目指している。

TOBU POINT アプリダウンロード数

76万人



百貨店 営業収益

580億円



東武沿線を中心に展開する東武百貨店、東武宇都宮百貨店の営業収益合計は580億円（2023年度）。池袋店、船橋店、宇都宮店、大田原店、栃木市役所店があり、地域経済の活性化を目指していく。